

会員各位

一般社団法人宮城県作業療法士会
教育部 部長 荒井隆徳
(公印省略)

一般社団法人 宮城県作業療法士会教育部主催

令和 4 年度 現職者共通研修開催のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、当士会では下記の通り令和 4 年度現職者共通研修を開催いたします。皆様ご多忙とは思いますが、参加いただきますようご案内申し上げます。尚、昨今の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、昨年度に引き続き研修会参加者の安全性を最優先することなどを考慮し Web 会議システム Zoom を用いたオンラインでの開催となります申し込みされた皆様安心して参加出来る様に、受講に際して出来る限りサポートいたしますので、より多くの皆様にご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

敬具

記

1.日 程： 令和 4 年 11 月 26 日（土）

9:00～10:30「保健・医療・福祉と地域支援」（受付 8:45～） 講師：三浦 晃 氏（株式会社リエンス）
11:00～12:30「作業療法における協業・後輩育成」（受付 10:45～） 講師：藤井 貴 氏（東北保健医療専門学校）
13:30～15:00「実践のための作業療法研究」（受付 13:15～） 講師：齋藤 佑樹 氏（仙台青葉学院短期大学）

※ご希望の 1 テーマからの参加申し込みも可能です。各テーマの学習目標は 2 ページ目をご参照ください。

2.方 法：オンライン（Zoom）にて開催**3.参加対象：日本作業療法士協会会員（今年度会費納入済みの方）****4.参 加 費：1 テーマにつき**

会員（各都道府県士会会員）1000 円 非会員（各都道府県士会会員でない方）2000 円

※日本作業療法士協会会員であっても各都道府県士会会員でない方は非会員扱いとなります。

各都道府県士会に所属の確認をさせていただく場合があります。

※参加費は事前振込となります。振込方法については後日申し込みされたメールアドレスへ連絡を致します。

振込期日：令和 4 年 11 月 21 日（月）

5.申し込み：宮城県作業療法士会ホームページもしくは右の QR コードからお申し込みください。

申込締切：令和 4 年 11 月 18 日（金） 公文書依頼締切：令和 4 年 11 月 14 日（月）

※尚、公文書の必要な方は締切までに当士会事務局に直接電話連絡をお願いいたします。

（TEL：022-263-0098）

※申し込み後、web メールから返信いたします。申し込みには、必ず受信できる

メールアドレスを入力ください。携帯キャリアのメール（@以下が携帯通信会社ドメイン）は

出来るだけ使用をお控えください。研修会前日までに申し込みされたメールアドレス宛に

Zoom のミーティング ID、パスコード等の詳細情報を連絡させていただきます。返信がない場合、

お手数ですが下記問い合わせ先にご連絡ください。



申込 QR コード

6.単位認定：生涯教育制度の現職者共通研修の該当テーマが受講修了となります。後日、日本作業療法士協会会員ポータルサイトの「受講履歴」に反映されます。生涯教育制度についての詳しくは日本作業療法士協会ホームページをご覧ください。【URL：https://www.jaot.or.jp/continuing_education/】

※事務局が修了手続きを行う際に「協会会員番号」が必要となります。入会申請中の方は協会番号が決定次第の登録となりますので、ポータルサイトへの反映が遅くなることをご了承ください。

※修了手続きは参加費納入が確認された方のみ行います。必ず期日までに参加費の納入をお願いいたします。

7.その他：オンライン（Zoom）での参加場合は、インターネット接続が可能な環境が整っている必要があります。

また、大変申し訳ありませんがスマートフォン、携帯電話での参加は不可とさせていただきます。

詳しくは、宮城県作業療法士会ホームページの「Web システム導入について」をご覧ください。

【リンク：[宮城県作業療法士会](http://miyagi-ot.jp) » [WEB 会議システム導入について \(miyagi-ot.jp\)](http://miyagi-ot.jp)】

8.学習目標：

【保健・医療・福祉と地域支援】

- 1) 作業療法士として地域生活支援ができるために保健・医療・福祉にまつわる現状とリハビリテーションとの関連性、支援方法を理解できる
- (1)保健・医療・福祉におけるリハビリテーションの枠組みについて理解する
- (2)当院地域社会の特性および現状を理解する
- (3)地域生活における作業療法(作業療法士)の役割を理解する

【作業療法における協業・後輩育成】

- 1) 対象者・家族との信頼関係の築き方を学ぶ
- 2) 作業療法・他職種それぞれの専門性を理解し、連携のとり方を学ぶ
- 3) 職場における後輩育成の意義と方法を学ぶ
- 4) 臨床実習指導に必要な知識と学生気質を理解する

【実践のための作業療法研究】

- 1) 研究を通して、専門知識・技術の創造と開発に努め、作業療法の発展に寄与する必要性を理解する
- (1)作業療法実践におけるエビデンス「科学的根拠」の必要性を学ぶ
- (2)エビデンスを作り出す研究方法を理解する
- (3)すでに発表されている研究の重要性を理解する

9.問い合わせ先：教育部生涯教育班 太田竜太郎（仙台リハビリテーション病院）

Mail：otmiyagikyokuiku@gmail.com（＊を@に変換）